

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和3年度(2021年度)病害虫発生予察注意報第2号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和3年度(2021年度)病害虫発生予察注意報第2号

農作物名 早植え水稻、普通期水稻
病害虫名 いもち病(穂いもち)

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 出穂期以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠

- (1) 8月中旬に実施した巡回調査によると、早植え水稻での葉いもちの発病株率は40.4%(平成12.9%)、発病度は10.5(平成3.2)で平成比多の発生であった(図1)。
- (2) 普通期水稻での葉いもちの発病株率は12.8%(平成3.5%)、発病度は3.5(平成0.9)で平成比多の発生であった(図2)。
- (3) 8月中旬からの日照不足により稲体はいもち病に罹病しやすい状態となっている。
- (4) 福岡管区気象台が8月19日に発表した九州北部地方1か月予報によると8月21日以降の降水量は平年に比べ多い予想であり、いもち病の発生に好適な条件となる。

5 防除対策

- (1) 穂いもちは発生後の防除が困難であるため、予防防除を徹底する。
- (2) ほ場をよく観察し、葉いもちが上位葉に発生している場合は速やかに防除を行う。
- (3) これから出穂する水稻では、穂ばらみ期～穂揃い期に粉剤や水和剤を散布する。
なお、粒剤は出穂前に散布するが、薬剤の種類によって使用時期が異なるので確認して使用する。



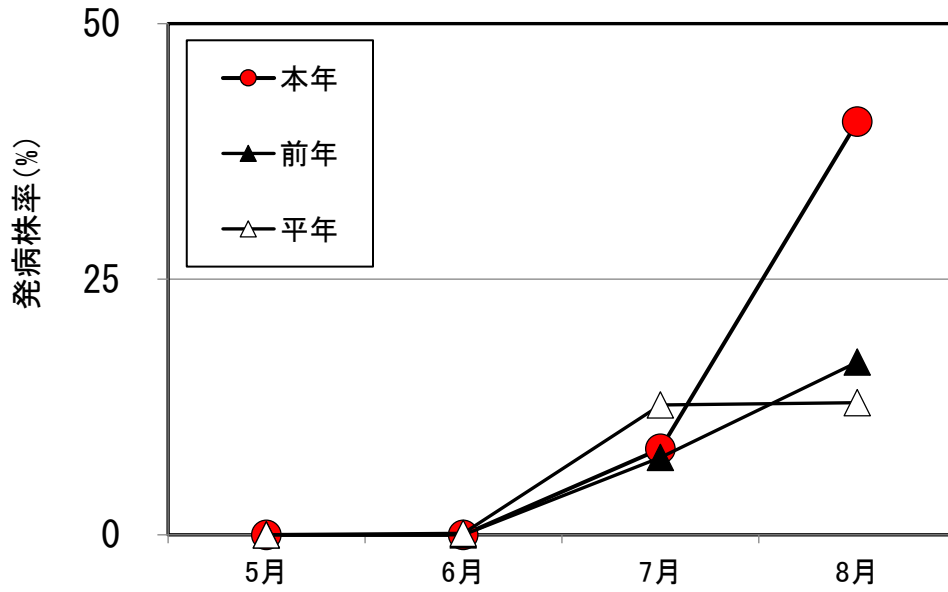


図1 早植え水稻葉いもち発病株率の推移

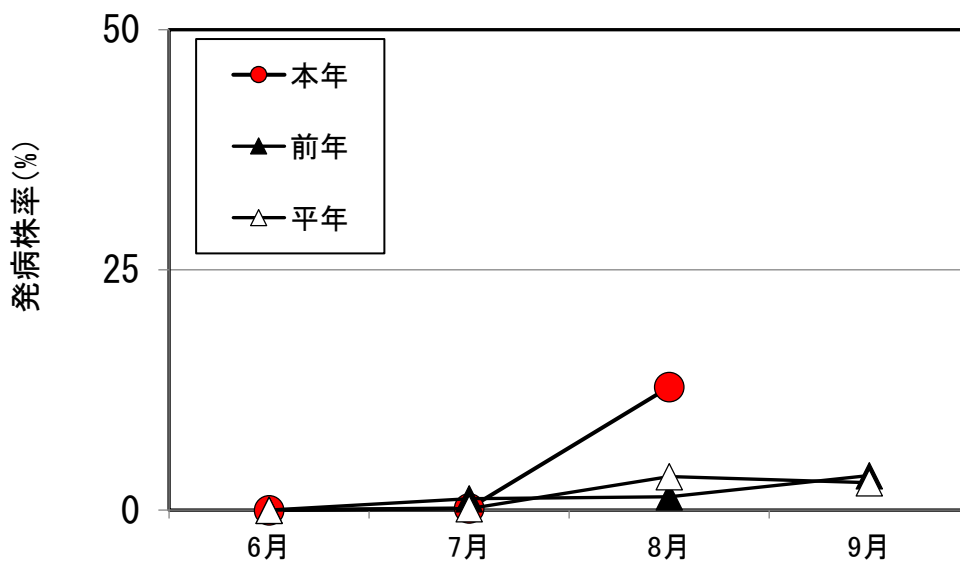


図2 普通期水稻葉いもち発病株率の推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室)
 担当：丹、作本 TEL 096-248-6490

